



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

ハロートレーニング(公共職業訓練・求職者支援訓練)の全体像

公共職業訓練

離職者向け

対象: ハローワークの求職者 **主に雇用保険受給者**

(無料(テキスト代等除く))

※受講期間中 基本手当+受講手当
(500円/訓練日)+通所手当+寄宿
手当を支給

訓練期間: 概ね3月~2年

実施機関

○国(ポリテクセンター)

主にものづくり分野の高度な訓練を実施(金属加工科、住環境計画科等)

○都道府県(職業能力開発校)

地域の実情に応じた多様な訓練を実施(木工科、自動車整備科等)

○民間教育訓練機関等(都道府県からの委託)

事務系、介護系、情報系等モデルカリキュラムなどによる訓練を実施



在職者向け

対象: 在職労働者(有料)

訓練期間: 概ね2日~5日

実施機関: ○国(ポリテクセンター・ポリテクカレッジ)

○都道府県(職業能力開発校)

学卒者向け

対象: 高等学校卒業者等(有料)

訓練期間: 1年又は2年

実施機関: ○国(ポリテクカレッジ)

○都道府県(職業能力開発校)

障害者向け

対象: ハローワークの求職障害者(無料)

訓練期間: 概ね3月~1年

実施機関: ○国(障害者職業能力開発校)

・(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構営

・都道府県営(国からの委託)

○都道府県(障害者職業能力開発校、職業能力開発校)

○民間教育訓練機関等(都道府県からの委託)

求職者支援訓練

対象: ハローワークの求職者 **主に雇用保険を受給できない方**

(無料(テキスト代等除く))

※受講期間中 受講手当(月10万円)
+通所手当+寄宿手当を支給(本
人収入が月8万円以下(※2)、世帯
収入が月40万円以下(※3)等、一定
の要件を満たす場合)

訓練期間: 2~6か月(※1)

※1 令和4年3月末までの時限措置として、
シフト制で働く方などを対象とする場合、
より短期間(2週間~)で設定可

実施機関

○民間教育訓練機関等(訓練コースごとに厚生労働大臣が認定)

<基礎コース> 基礎的能力を習得する訓練

<実践コース> 基礎的能力から実践的能力まで一括して習得する訓練

実践コースの主な訓練コース

介護系(介護福祉サービス科等)

情報系(ソフトウェアプログラマー養成科等)

医療事務系(医療・調剤事務科等)等



令和2年度 公共職業訓練 実績	合計		国(ポリテクセンター等)		都道府県	
	受講者数(人)	就職率	受講者数(人)	就職率	受講者数(人)	就職率
離職者訓練	103,148	-	24,855	-	78,293	-
うち施設内	31,392	83.7%	24,855	84.7%	6,537	80.8%
うち委託	71,756	71.3%	-	-	71,756	71.3%
在職者訓練	71,836	-	41,409	-	30,427	-
学卒者訓練	15,773	95.3%	5,655	99.0%	10,118	94.0%
合計	190,757	-	71,919	-	118,838	-

令和2年度 公共職業訓練 実績 障害者訓練 (離職者訓練の うち施設内)	合計		国立機構営		国立都道府県営		都道府県立	
	受講者数(人)	就職率	受講者数(人)	就職率	受講者数(人)	就職率	受講者数(人)	就職率
	1,327	62.9%	333	78.8%	800	58.8%	194	64.9%

令和2年度求職者支援訓練 実績 受講者数: 23,734人
(基礎コース) 5,838人 就職率: 52.5% (実践コース) 17,896人 就職率: 60.0%

ハロートレーニングを上手に活用して

就職やスキルアップにつなげよう！

このページでは、ハロートレーニング（公共職業訓練、求職支援訓練）について、その内容や受講のメリット等をQ&A形式でご紹介します。ハロートレーニングの受講を検討している方はもちろん、ハロートレーニングについてご存知でない方も、ぜひお読みください。

Q1 ハロートレーニングって何？

A1 ハロートレーニング（公的職業訓練）とは、雇用保険（失業保険）を受給している求職者を主な対象とする「**公共職業訓練**」と、雇用保険を受給できない求職者を主な対象とする「**求職者支援訓練**」の総称です。キャリアアップや希望する就職を実現するために、必要な職業スキルや知識を習得することができる公的な制度です。

Q2 どのような人が受講できるの？

A2 **働こうとする方、働く方すべてが対象**です。これから就職を目指す方であれば、失業中の方だけでなく、働きたいのにキャリアが少ない方等、状況は問いません。

また、障害をお持ちの方、学卒者の方、スキルアップをめざす在職者の方向けの訓練も用意しています。

Q3 受講費用はどれくらいかかるの？

A3 公的な制度のため、受講料は基本的に**無料**です。

※1 一部テキスト代等は自己負担となります。

※2 在職者や学卒者の方を対象としたハロートレーニングは有料です。

Q4 訓練分野（コース）にはどのようなものがある？

A4 事務系をはじめとして、IT、建設・製造、サービス、介護、デザイン、理美容に至るまで**多種多様な訓練分野**を網羅しており、住宅リフォーム、OAシステム開発、Web設計、3DCAD等の昨今の**時代のニーズに即したコース**や**女性向けコース**等も設定しています。また、第一種電気工事士、宅地建物取引主任者、介護職員初任者研修等の**資格取得をめざすコース**もあります。

また、ハロートレーニングの訓練コースは下記のホームページより検索できます。

【ハローワーク インターネットサービス】 職業訓練検索
<https://www.hellowork.mhlw.go.jp/kensaku/GECA150010.do?action=initDisp&screenId=GECA150010>

Q5 どこで受講できるの？

A5 公共職業訓練の場合は、国（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構のポリテクセンター、ポリテクカレッジおよび障害者職業能力開発校）、都道府県（職業能力開発校および障害者職業能力開発校）、民間教育訓練機関等（都道府県からの委託）が、求職者支援訓練の場合は、民間教育訓練機関等（訓練コースごとに厚生労働大臣が認定）が実施しています。

Q6 訓練期間はどのくらい？

A6 離職者向けの訓練は、基本的には2～6ヶ月となります。そのほか、1年間や2年間の訓練も用意しています。

在職者向けの訓練は、2～5日と短期間です。

また、学卒者向けの訓練は、1～2年間と長期間です。

Q7 どのくらいの人が受講しているの？

A7 年間約**26万人**の人が受講しており、受講者の**7割以上が女性**です。子育て中の方も安心して訓練を受講いただけるよう、託児サービス付きの訓練も用意しています。

Q8 どれくらいの方が就職しているの？

A8 公共職業訓練では、**約 8 割の方が就職**しています。

Q9 受講するにはどうしたらいいの？

A9 訓練受講に関する手続きは基本的には**ハローワーク**で行います。まずは、最寄りのハローワークまでご相談ください。

Q10 訓練期間中の生活費はどうすればいい？

A10 雇用保険（失業保険）を受給できる方は、訓練受講中の手当を受給することができ、雇用保険を受給できない方には、一定の要件を満たせば、訓練受講中の生活費等が支給される制度があります。また、いずれの方にも訓練施設に通うための交通費があわせて支給されます。詳しくはハローワークにご相談ください。

Q11 ハロートレーニングを受講して就職するメリットは？

A11 「やりたい仕事はあるが経験やスキルがない」「入社後すぐに役に立つ専門的・実践的なスキルを身につけたい」などという方には訓練の受講は非常に効果的です。また、訓練受講中でもハローワークや、訓練施設で就職相談を受けることもできます。「急がば学べ」とのキャッチフレーズにもあるとおり、少し時間がかかっても訓練を受講してから就職するメリットは大いにあると考えます。